

# Microsoft Open プログラム ライセンス ガイド

## 目次

メリット .....	2
Open プログラム オプション .....	3
Open Value .....	3
Open Value Subscription オプション .....	3
Open License .....	4
マイクロソフト オンライン サービス .....	4
クライアント アクセス ライセンス (CAL) とブリッジ CAL .....	4
適格公共機関、教育機関および非営利団体を対象とするプログラム .....	5
教育機関 .....	5
公共機関 .....	5
非営利団体 .....	5
ソフトウェア アシュアランス .....	5
ライセンス管理 .....	6
マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) .....	6
発注 .....	6
複製の作成 .....	6
その他のリソース .....	7
必要なライセンスの決定 .....	7

# Microsoft Open プログラム概要

多数のソフトウェアのライセンスを取得し、複数のデバイスでソフトウェアを管理する公共機関のお客様は、マイクロソフト ボリューム ライセンス契約が最もコスト効果の高い方法でソフトウェア ライセンスとオンラインサービスを手に入れていただけます。マイクロソフトは、適格公共機関のお客様に最適なボリュームライセンス契約を提供いたします。（Enterprise Agreement、Select Plus agreement、マイクロソフト製品／サービス契約、Open License agreement、Open Value agreement を含む）

## メリット

Open プログラムには、次のようなさまざまなメリットがあります。

**シンプルなライセンス:** 発注を行い、直ちにライセンスを取得した製品の使用を開始できます。必要に応じて購入する柔軟なモデルにより、予測が不要になります。Open License で発注を行うと、再利用や対象となる関連会社との共有が可能な認証 ID 番号を 1 つ受け取ることになります。2 年の契約期間を通じて有効なこの ID 番号を利用して、調達コストを削減し、購入プロセスを簡略化することができます。

**柔軟なライセンス:** Open Value では単一プラットフォーム オプションが提供され、1 つのプラットフォームの下で Windows デスクトップ オペレーティング システム アップグレード、Microsoft Office、Office 365 および Client Access License (CAL) からコンポーネントを選択することができます。

お客様がエンタープライズ ソリューションを必要としている場合は、Microsoft Office Pro Plus、Office 365 E plans、Enterprise CAL および Windows E3 をご利用いただけます。

**管理可能なライセンス:** オンライン追跡ツールにより、ライセンスの管理が簡単かつ便利になります。ボリューム ライセンス サービスセンター (VLSC) を使用すると、ライセンス情報の確認、マイクロソフトのライセンス取得済みソフトウェアのダウンロード、ソフトウェア アシュアランスの特典とサブスクリプションの管理をオンラインで簡単に一元的に行えます。

**手頃な価格のライセンス:** ソフトウェアの調達予算の用途を、製品版ライセンスの購入以外にも広げることができます。シンプルな入手方法で、必要なときに必要な分のお支払いが可能となるため、ソフトウェアに対するニーズを柔軟に管理できるようになります。

**オンライン サービスの購入:** Open プログラムのお客様は、オンプレミス ソフトウェアと同じ契約で一部の マイクロソフト オンライン サービスを購入できるため、既存の契約を通じてお客様のペースでクラウドに移行することができます。オンプレミス ソフトウェアと同じリセラーから一括して購入することが可能です。Open Value または Open License を通じてクラウド サービスを購入すれば、Microsoft Office 365 などのサービスを職場の内外で複数のデバイスからシームレスに使用することができます。ただし、地域による制限が適用されます。

# Open プログラム オプション

マイクロソフトは、中小規模組織のお客様が、ライセンス取得についてさまざまなニーズをお持ちであることを認識しています。Open Value と Open License 契約では、多くの点でプログラム機能が共通していますが、ライセンス購入オプションに違いがあります。これらのオプションにより、お客様固有のニーズに適した契約をご利用いただけます。

## マイクロソフト ボリューム ライセンスのオプション



図 1: マイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様向けのオプション

### Open Value

Open Value は、3 つ以上のユーザー数/デスクトップ数、ライセンス管理の簡略化、ソフトウェア コストの管理、投資的確かな制御をご希望の中小規模組織のお客様に推奨されるプログラムです。Open Value にはソフトウェア管理の各フェーズにおけるソフトウェア購入費用を最大限に活用することができるソフトウェア アシユアランスが含まれています。また、トレーニング、導入計画、ソフトウェア アップグレード、製品サポートなどの価値のある特典により、組織全体の生産性を高めることができます。

#### Open Value 全体契約オプション

Open Value の全体契約では、1 つ以上のマイクロソフト エンタープライズ製品ですべてのユーザー/デスクトップを標準化することを希望される一般企業および公共機関のお客様に、追加割引をご利用いただけます。このプログラムには、全体規模での展開に対する割引が含まれているため、最も有利な価格でソフトウェア ライセンスを購入することができます。

Open Value 全体契約を選択すると、単一プラットフォーム オプションを利用してマイクロソフトの最新のライセンス製品を利用することができます。この単一プラットフォーム オプションにより、Windows オペレーティング システム、Microsoft Office、Office 365、CAL の製品群および契約で選択した追加の製品（以下のプラットフォーム製品オプションの最新バージョンを含む）からコンポーネントを選択して、デバイスをカスタマイズすることができます。

- ▶ **Microsoft Office:** Microsoft Office Professional Plus
- ▶ **オペレーティング システム:** Windows E3
- ▶ **Client Access License (CAL) Suite:** Enterprise CAL スイートまたは Core CAL スイート、Office 365 E plans

#### Open Value Subscription オプション

全体契約オプションと同様に、サブスクリプション オプションを利用すると、デスクトップ PC ごとに一律の価格を支払うことで、

組織全体に標準としてマイクロソフトのテクノロジーを展開することができます。Open Value Subscription は、デスクトップ PC の数が減少した年にライセンス コストの総額を削減できるという柔軟性を備えているため、Open プログラムのオプションの中で最も初期費用が少なく済みます。このオプションでは、お客様はマイクロソフトとの契約期間中に限り、組織全体でソフトウェアを実行することができます。お客様はまた、単一プラットフォーム オプションを Open Value Subscription 契約に追加することもできます。

対象となる公共機関のお客様は、1 年間の Open Value Subscription オプションを利用できます。このオプションにより、公共機関は 1 年または 3 年の契約期間を柔軟に選択することで、公共機関の調達要件を適宜調整することができます。1 年オプションでは Up-to-Date (UTD) 割引はご利用いただけません。お客様は買取時に 3 年以上継続して Open Value Subscription を購入していなければなりません。

注: Open Value for Government は、一部の地域ではご利用いただけません。各国の提供状況については、マイクロソフトリセラーまでお問い合わせください。

## Open License

Open License は、必要な数だけライセンス購入を希望される企業、教育機関、公共機関および非営利団体のお客様に適したプログラムです。必要に応じてライセンス料金を支払うため、組織のビジネス ニーズの拡大や変化に合わせてライセンス数を増やすことができる柔軟性を備えています。Open License 契約では初回発注時に 3 つ以上のソフトウェア ライセンスを購入する必要がありますが、2 年間の契約期間中であればいつでも任意の数量でライセンス製品を Open License を通じて追加購入することができます。Office 365 などの多くのオンライン サービスには最低発注要件はありません。ソフトウェア アシユアランスはライセンスの購入時に購入できますが、特典は契約の認証番号の満了と共に終了します。ソフトウェア アシユアランスの特典の期間を最大限にするため、Open License のお客様は、(既存の認証番号に基づく追加購入としてではなく) 新規発注としてソフトウェア アシユアランスを発注することができます。

## マイクロソフト オンライン サービス

クラウド コンピューティングのさまざまなメリットを取り入れて IT 戦略を進化させているお客様は、マイクロソフトがサブスクリプション サービスとしてホストするオンライン サービスを活用して、これまでに投資したテクノロジーの能力と機能を拡張することができます。Open プログラムでは、ユーザーのタイプに合わせて異なるソフトウェアやサービスを選択できる柔軟性が提供されるほか、IT 部門やユーザーのニーズに対応するサブスクリプションを購入してテクノロジーへの投資を最適化したり、お客様が導入しているマイクロソフトのすべてのソフトウェアやサービスのコンプライアンス管理と資産管理を効率化したりできます。

Open プログラムでは、Office 365 や Microsoft Azure といった広く利用されている オンライン サービスをご購入いただけます。発注を行うと、お客様とリセラーに対してオンライン サービスのライセンス認証を行う方法が記載された電子メールが送信されます。詳細については、[オンライン サービス条件](#)をご参照ください。

オンライン サービスのライセンスは、サブスクリプションの期間中自由にオンライン サービスを使用することのできるユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) です。サブスクリプションの期間は 12 か月間で、開始日および終了日はお客様のボリューム ライセンス契約とは無関係です。

## クライアント アクセス ライセンス (CAL) とブリッジ CAL

組織内のワークステーションがネットワークで接続されている場合、通常お客様はネットワーク サーバー ソフトウェアを利用して、ファイルやプリンターの共有など特定の機能を実行します。こうしたサーバー ソフトウェアの利用には、クライアント アクセス ライセンス (CAL) が必要となることがあります。CAL スイートは、オンプレミス展開の複数のライセンスと同等の使用権を提供する単一のライセンスです。CAL スイートを利用することにより、サーバー上のマイクロソフト製品へのアクセスに必要なライセンスの数が減るため、ライセンスの取得や管理が容易になります。また、同等のコンポーネントのライセンスを個別に取得する場合よりも低価格でご購入いただけるというメリットもあります。

Microsoft CAL スイートブリッジは、CAL スイート (オンプレミス) から、同等の製品とオンライン サービスの組み合わせに移行する場合に使用されます。Open Value および Open Value Subscription でご利用いただけるブリッジ CAL により、簡単かつ最もコスト効果の高い方法でオンプレミス ソフトウェアからクラウド サービスへの移行を行うことができると同時に、プラットフォームのサポート範囲が維持されます。ブリッジ CAL SKU を利用すると、たとえば Office 365 プランなど、サブスクリプションを購入する予定の オンライン サービス を通じて、ライセンスをまだ取得していない CAL スイート ワークロードのライセンスを取得し、アクセスを維持することができます。

CAL スイートとブリッジ CAL の詳細については、[こちらのページ](#)をご参照ください。

## 適格公共機関、教育機関および非営利団体を対象とするプログラム

適格の公的機関および民間団体は、特別な価格レベルを利用することができます。

### 教育機関

マイクロソフトは、教育機関のお客様にライセンス ソリューションを提供すべく尽力しています。Open License for Academic を含む教育機関のお客様向けのライセンス オプションについては、

<https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/licensing-for-industries.aspx#Pivot1Target2> をご参照ください。

### 公共機関

適格公共機関は、Open Value for Government または Open License for Government で公共機関向けの特別価格を利用できます。公共機関の適格条件については、

[www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/licensing-for-industries.aspx](http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/licensing-for-industries.aspx) をご参照ください。

### 非営利団体

適格非営利団体は、Open License for Nonprofits で特別価格を利用できます。非営利団体の適格条件については、

<https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/licensing-for-industries.aspx#Pivot1Target4> をご参照ください。

Open License for Nonprofits は、一部の地域ではご利用いただけません。各国の提供状況については、担当のリセラーまでお問い合わせください。

## ソフトウェア アシユアランス

ボリューム ライセンス用のマイクロソフト ソフトウェア アシユアランスは、24 時間年中無休のサポート、導入計画サービス、エンドユーザー トレーニングと技術トレーニング、最新のソフトウェア リリースおよび独自のテクノロジーなどをすべて 1 つにまとめたコスト効果の高いプログラムであり、これらを利用してマイクロソフトのソフトウェアを最大限に活用することで、組織の生産性を高めることができます。オンライン トレーニングや自宅使用ライセンスによりマイクロソフト ソフトウェアに関するスキルを高め、習熟するまでの時間を短縮することにより、ユーザーの生産性を向上させることができます。IT スタッフがマイクロソフト テクノロジーを効率的に管理できるように、ソフトウェア アシユアランスでは、新しいソフトウェア リリースが提供されたら直ちに最新バージョンを利用できるだけでなく、Windows Enterprise や Microsoft Desktop Optimization Pack などの独自のデスクトップ テクノロジー、24 時間年中無休の電話および Web によるサポート、教室形式の技術トレーニング、導入計画サービスを利用できるようになってい

ます。

これらの特典を利用するために、ソフトウェア アシユアランスを含む Open Value 契約のご購入をお勧めします。Open License では、ソフトウェア アシユアランスはオプションで購入することになります。Open プログラムを通じて提供されるソフトウェア アシユアランス特典は、[www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx](http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx) をご参照ください。

## ソフトウェア アシユアランスの取得

Open Value 契約の全期間を通じてソフトウェア アシユアランスが含まれています。

Open License 契約を使用して、Open License 認証番号の残りの期間についてソフトウェア アシユアランスを購入することもできます。Open License 契約ではソフトウェア アシユアランスの料金は、購入時期に関係なく常に 2 年ごとに支払う必要があります。Open License 契約の発効日から相当の日数が経過した場合は、ソフトウェア アシユアランスの購入により最大限の価値を引き出すためにも、新規の Open License 認証番号を取得されることをお勧めします。

システムまたはサーバー製品をパッケージ製品 (FPP) として、または OEM (Original Equipment Manufacturer) から購入した場合は、ソフトウェア アシユアランスを単独で購入することもできます。これらの購入にソフトウェア アシユアランスを追加することができるのは、購入後 90 日間です。

## ライセンス管理

ソフトウェア ライセンスの管理は、オンライン ツールによってこれまでより簡単になりました。以下では、マイクロソフトが提供するサービスについてご紹介します。

### マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC)

マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) を利用すると、Open プログラムの管理、ライセンスを取得した製品のダウンロード、およびソフトウェアのプロダクト キーへのアクセスを簡単に行うことができます。このサイトでは、マイクロソフト ライセンス ステートメントをカスタマイズできます。この使いやすいレポートにより、契約全体のボリューム ライセンスの利用資格についてリアルタイムで算定結果を把握できます。また、これを使用して、ソフトウェア アシユアランス特典を簡単に特定し、有効化することもできます。マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センターには、[www.microsoft.com/Licensing/servicecenter/default.aspx](http://www.microsoft.com/Licensing/servicecenter/default.aspx) からアクセスできます。

VLSC にログインするには Microsoft アカウントが必要です。

## 発注

Microsoft Open プログラムによるボリューム価格に関心をお持ちの場合は、マイクロソフト リセラーへお問い合わせください。マイクロソフト リセラーを見つけるには、<https://www.microsoft.com/ja-JP/solution-providers/home> をご覧ください。

## 複製の作成

Open Value または Open License 契約が発効すると、ライセンスを取得した数と同数の製品の複製を実行できます。正式に取得したダウンロードまたはメディア キットを使用して、ライセンスを取得した製品を複数のワークステーションまたはサーバーにインストールしてください。これにより、小売販売されているソフトウェア ライセンスを購入した場合に比べ、デスクトップ PC あたりのメディアの数を大幅に削減できます。

## その他のリソース

Open プログラム:

[www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/open-license.aspx](http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/open-license.aspx)

マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラム:

[www.microsoft.com/ja-jp/licensing](http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing)

ソフトウェア アシユアランス:

[www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx](http://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx)

マイクロソフト製品条項:

[www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/products.aspx](http://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/products.aspx)

公共機関向け、教育機関向け、非営利団体向けボリューム ライセンス:

[www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/licensing-for-industries.aspx](http://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/licensing-for-industries.aspx)

組織に適したボリューム ライセンス プログラムを判断する際に使用できる Microsoft License Advisor:

[mla.microsoft.com/default.aspx?language=Japanese&country=JP](http://mla.microsoft.com/default.aspx?language=Japanese&country=JP)

## 付録

### 必要なライセンスの決定

ソフトウェア製品のライセンスは、製品群、製品、バージョン、エディション、製品タイプという 5 つの要素に大きく分けることができます。

#### 製品群

マイクロソフトのソフトウェア プログラムおよびオンライン サービスは、次の 3 つの製品群のいずれかに該当します。

アプリケーション: マイクロソフトのアプリケーションの例としては、Office スイート、Microsoft Visio 描画および作図ソフトウェア、Microsoft Project などがあります。Microsoft Visual Studio 開発システムなどの開発ツールおよびユーティリティも、マイクロソフトのアプリケーション製品群に含まれます。

システム: マイクロソフトのデスクトップ PC オペレーティング システム ソフトウェア プログラムの例としては、Windows Professional アップグレードなどがあります。

サーバー: マイクロソフトのサーバー ソフトウェア プログラムの例としては、Microsoft Exchange Server、Microsoft SQL Server データベース ソフトウェア、Windows Server オペレーティング システム、Office 365 サブスクリプションなどがあります。

#### 製品

製品ソフトウェアには、Microsoft Office、Visual Studio、Windows、SQL Server などがあります。

#### バージョン

バージョンによりさまざまな製品リリースが区別されています (例: Microsoft Office 2013 と Microsoft Office 2010)。

## エディション

エディションは、製品に含まれる機能またはアプリケーションのレベルを指定するものです（例: Microsoft Office Standard 2013 には Microsoft Word 2013、Microsoft Excel 2013 スプレッドシート ソフトウェア、Microsoft Outlook 2013 メッセージングおよびコラボレーション クライアント、Microsoft PowerPoint 2013 プレゼンテーション グラフィックス ソフトウェアが含まれ、Microsoft Office Professional 2013 には Word 2013、Excel 2013、Outlook 2013 with Business Contact Manager、PowerPoint 2013、Microsoft Access 2013 データベース ソフトウェア、Microsoft Publisher 2013 が含まれます）。

## オンライン サービス

マイクロソフトがクラウドでホストするマイクロソフト製品で、サブスクリプション サービスとして提供されます。オンライン サービスの例としては、Microsoft Office 365 や Enterprise Mobility + Security などが挙げられます。

## 製品タイプ

ライセンスは、発注された製品の特定のバージョン（例: Microsoft Office Professional 2013）を実行する権利を提供するものです。Open License および Open Value プログラムは永続的な使用権を提供します。ソフトウェア アシュアランスをお持ちのお客様は、契約満了時点で利用可能な最新の製品バージョンに対する永続的な使用権を取得します。Open Value Subscription は、契約期間中に限り、最新の製品バージョンに対する使用権を提供します。

## ソフトウェア アシュアランス

対象となるライセンス製品についてソフトウェア アシュアランスを発注できます。ソフトウェア アシュアランスによりアップグレードの権利を取得し、その期間を通じてマイクロソフトが提供する最新バージョンの製品を実行することができます。ソフトウェア アシュアランスは Open Value と Open Value Subscription には標準で装備されています。Open License プログラムでは、ソフトウェア アシュアランスをオプションで購入することになります。

注: オプションとルールは製品によって異なります。